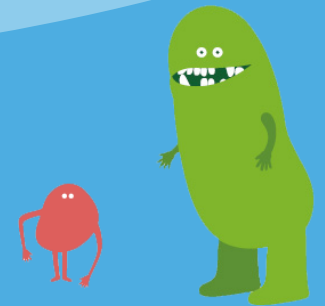
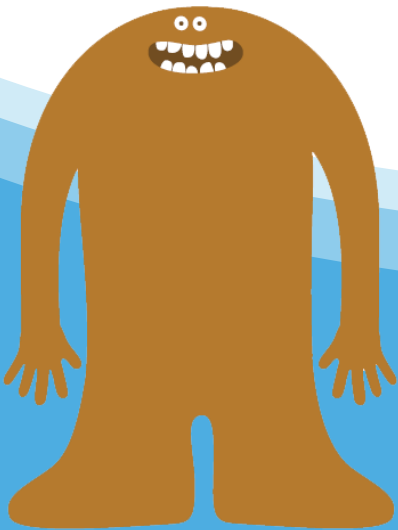


ナブテスコ株式会社

2016年12月期第2四半期 決算説明会

2016年8月8日



決算期変更および数値の表記について

2015年12月期

2015年12月期 (参考値ベース※)	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

第2四半期累計実績(参考値) : 国内・海外ともに6ヶ月(赤字部分を追加)
通期実績(参考値) : 国内・海外ともに12カ月に補正 (赤字部分を追加)

2016年12月期

2016年12月期	2016年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

第2四半期累計実績 : 国内・海外ともに6ヶ月
通期計画 : 国内・海外ともに12カ月

*2015/12 第2四半期累計実績(参考値)および通期実績(参考値)については、2016/12第2四半期累計実績との比較を行うために諸々の前提に基づき計算をした数値であり、会計上監査を受けた数値ではないためあくまで参考としてご覧ください。

第2四半期累計 連結業績概況

■ 舶用機器の市場悪化影響はあったものの、自動ドア事業での連結子会社化により増収。

■ 油圧機器事業改革による改善はあるが、精密減速機新工場立ち上げ等により減益。

(単位：百万円)	2015/12 第2四半期 累計実績(参考値 ^{注2}) (A)	2016/12 第2四半期 累計実績(B)	前年比増減 (B-A)
売上高	112,578	116,270	3,692
営業利益	11,319	10,731	-588
(営業利益率)	10.1%	9.2%	-
営業外損益	-294	-679	-385
経常利益	11,613	10,052	-1,561
特別損益	916	1,124	208
当期純利益*	7,240	7,211	-29
一 株 当 た り 純 利 益	57.94円	58.38円	-
中 間 配 当	22円	24円	2

■ 営業利益率
事業構成差等

■ 営業外損益
持分法子会社の減益
為替差損

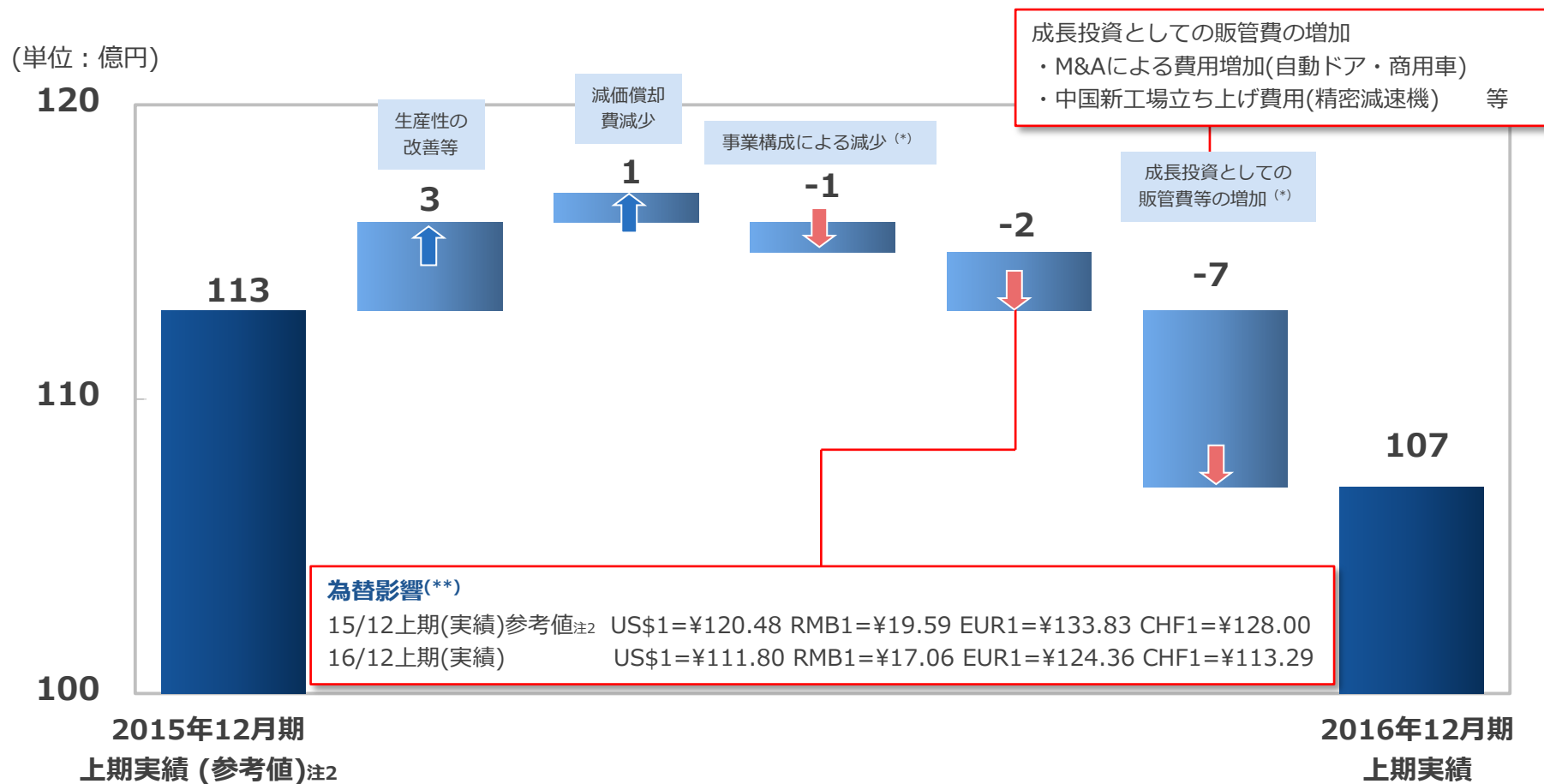
■ 特別損益
ナブコシステム連結
子会社化による特別
利益

■ 中間配当：2円増配

*当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益
注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

上期連結損益実績 (営業利益変動要因分析)

- 自動ドア事業販社の新規連結効果があるものの、船用機器等での減益を補えず減益。
- 精密減速機中国工場等の立ち上げ等、将来成長への投資も増加。



* 売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

** 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) 米国ドル 19百万円 人民元 軽微、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

注2の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

■自動ドア販社の連結子会社化を反映。純資産は海外子会社の資産が為替変動により減少したものの、依然として堅固なBSを維持。

(単位：百万円)	2015/12期末 2015年12月31日現在	2016/12期第2四半期末 2016年6月30日現在	差異
資 産	233,381	241,772	8,390
(現 預 金 等)	35,068	38,274	3,206
(売 上 債 権)	59,750	58,784	-966
(棚 卸 資 産)	28,421	31,572	3,150
(有 形 固 定 資 産)	55,916	63,692	7,776
負 債	84,456	95,113	10,656
(有 利 子 負 債)	15,333	16,808	1,474
純 資 産	148,924	146,658	-2,265
(新 株 予 約 権)	379	460	81
(少 数 株 主 持 分)	6,476	7,174	697
自 己 資 本	142,068	139,024	-3,044

※ 自己資本比率： 60.9% 57.5% -

通期連結業績見通し

■ 2016/12月期期首計画据え置き。

(単位：百万円)	2015/12 実績 (参考値注2) (A)	2016/12 期首計画 (B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比 増減率 ((B-A)/A)
売上高	228,949	250,000	21,051	9.2%
営業利益	21,308	25,500	4,192	19.7%
(営業利益率)	9.3%	10.2%	0.9pt	-
経常利益	22,387	27,000	4,613	20.6%
当期純利益*	14,796	18,900	4,104	27.7%
ROA	6.2%	7.6%	-	-
ROE	10.1%	12.5%	-	-

一株当たり配当金
配当性向

50円(予)
32.7%(予)

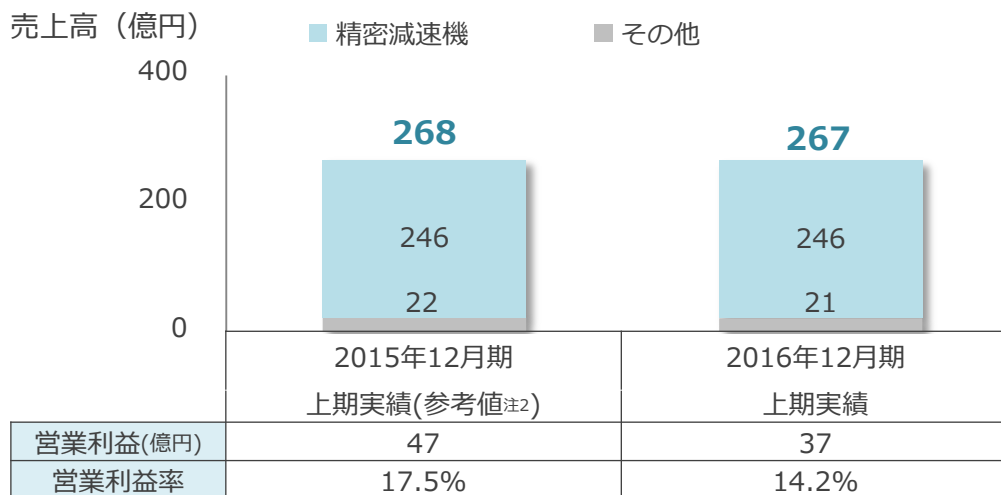
*当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益
注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

16/12通期為替前提：US\$1=¥115.00 RMB1=¥18.00 EUR1=¥130.00 CHF1=¥120.00

(為替が1円変動したときの売上に対する影響) 米国ドル 330百万円 人民元 944百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) 米国ドル 91百万円 人民元 55百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

上期実績 前年同期比較



■ 上期実績

(精密減速機)

2015年10～12月期の受注の落ち込みによる影響を受け結果として昨年並みにとどまる。

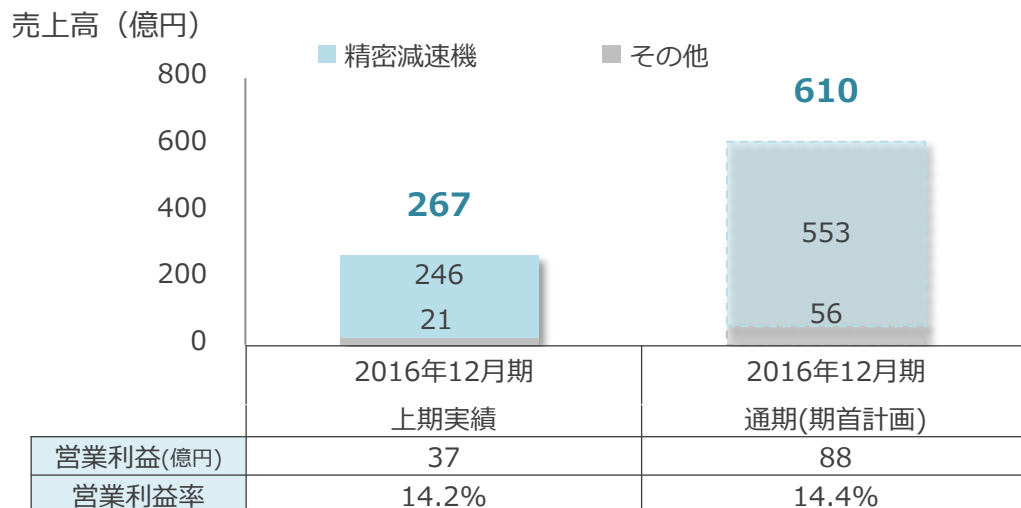
(新エネルギー)

為替の影響はあるがほぼ横ばい。

(営業利益)

精密減速機新工場立ち上げ影響および国内工場の稼働率減少により減益。

上期実績および見通し



■ 通期計画

(精密減速機)

第1四半期の出遅れはあるが、産業用ロボット向けの受注トレンドは概ね計画に沿って推移。

新製品拡販目標の未達がリスク。

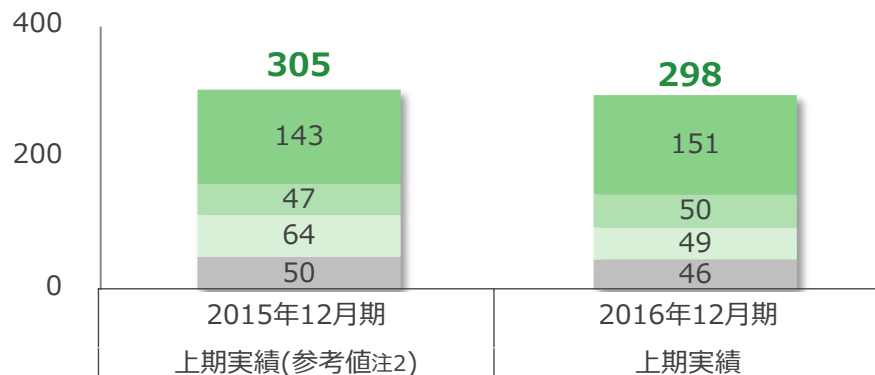
(新エネルギー)

為替による顧客競争力変動がリスク。

注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

上期実績 前年同期比較

売上高 (億円) ■ 鉄道車両用機器 ■ 商用車用機器 ■ 船用機器 ■ その他(販売会社)



営業利益(億円)	51	53
営業利益率	16.8%	18.0%

■ 上期実績

(鉄道車両用機器)

中国向け売上およびMRO*増加による増収。

(商用車用機器)

買収効果(ITG社)により増収。

(船用機器)

海運・造船市況の悪化を受け減収。

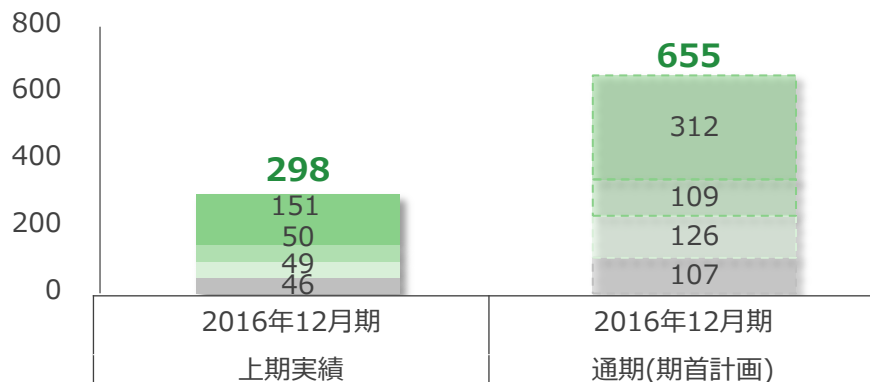
(営業利益)

主に鉄道で収益貢献の高いMROが集中し、利益押し上げ。

*MRO(Maintenance, Repair, Overhaul)

上期実績および見通し

売上高 (億円) ■ 鉄道車両用機器 ■ 商用車用機器 ■ 船用機器 ■ その他(販売会社)



営業利益(億円)	53	112
営業利益率	18.0%	17.1%

■ 通期計画

セグメント内での補完を期待。

(鉄道車両用機器)

上期時点で若干の遅れが見られる中国鉄道案件の進捗に左右される。

(商用車用機器)

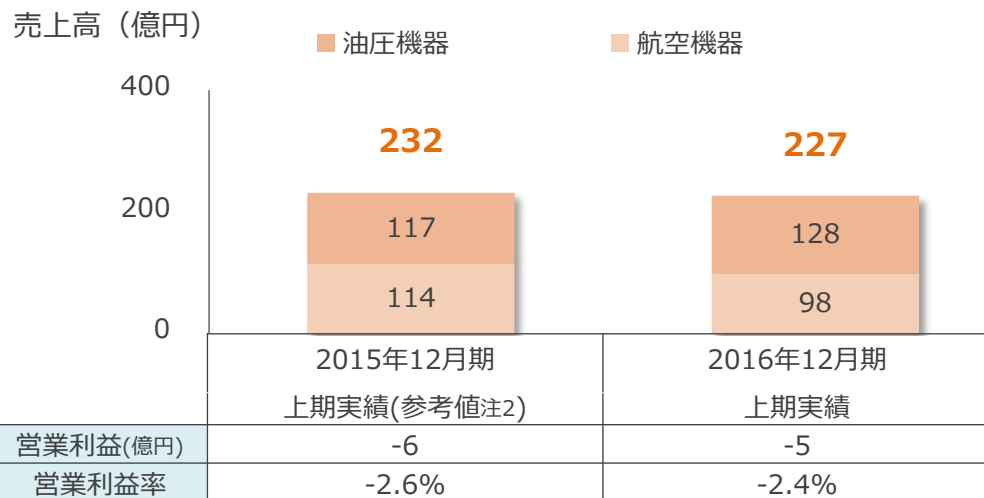
OEMの成長は力強さを欠くが買収効果を含め順調に推移。

(船用機器)

海運・造船市況の悪化を受け計画達成が困難。

注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

上期実績 前年同期比較



■ 上期実績分析

(油圧機器)

買収効果(ハイエスト社)により増収。

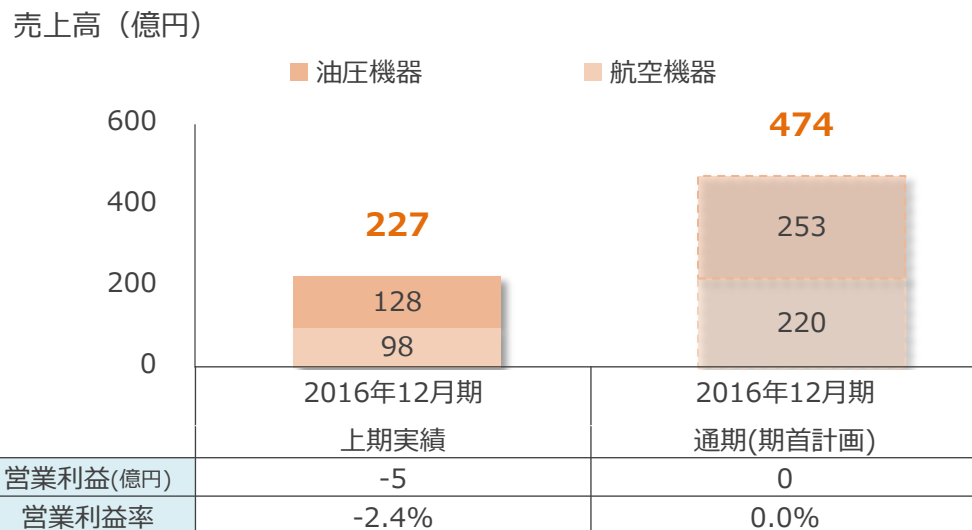
(航空機器)

為替影響により減収。

(営業利益)

為替影響はあるものの、油圧機器における構造改革効果により若干の増益。

上期実績および見通し



■ 通期計画

(油圧機器)

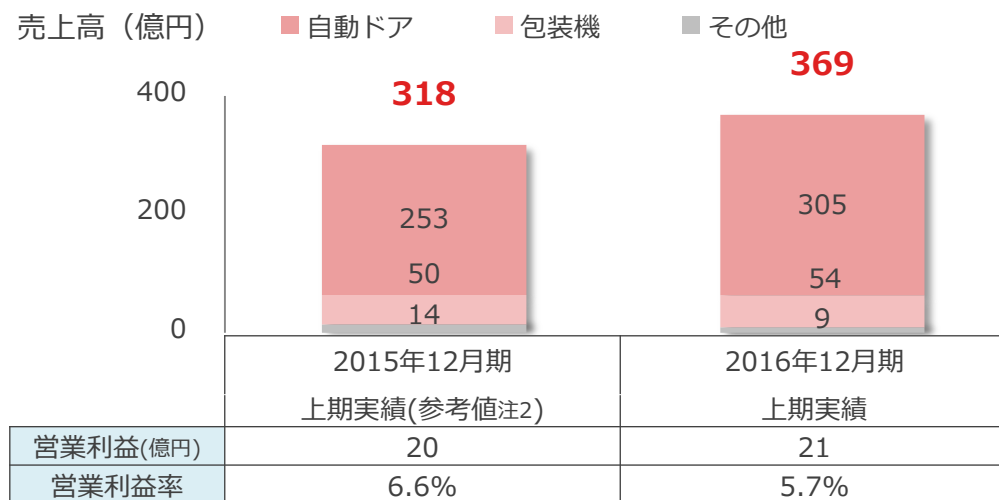
上期実績を鑑み概ね計画通り進展。

(航空機器)

為替変動によるリスク。

注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

上期実績 前年同期比較



■ 上期実績分析

(自動ドア)

販売会社の連結子会社化により増収。

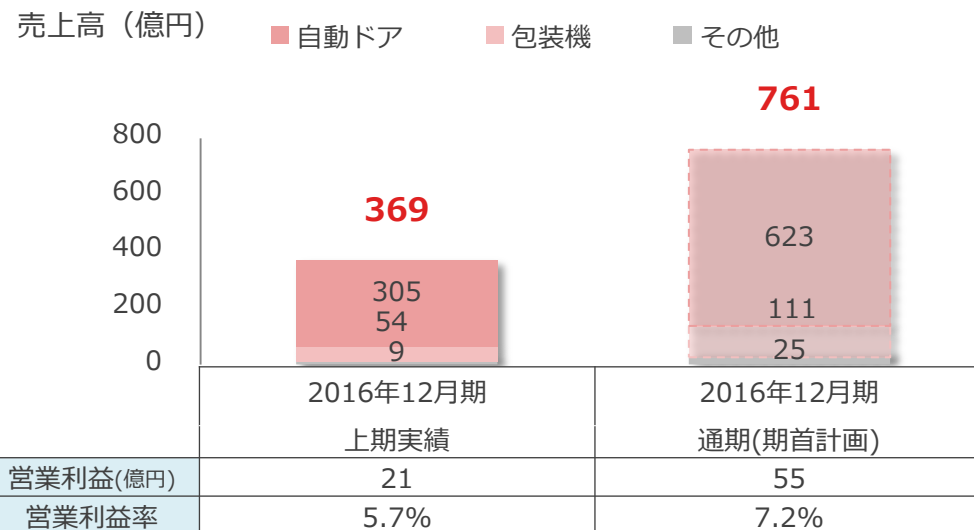
(包装機)

国内市場が堅調であり増収。

(営業利益)

買収効果により増益。

上期実績および見通し



■ 通期計画

(自動ドア)

販売会社の連結子会社化が想定よりも早く実施でき、順調に推移。

PMIの進捗によっては利益発現が遅れるリスクあり。

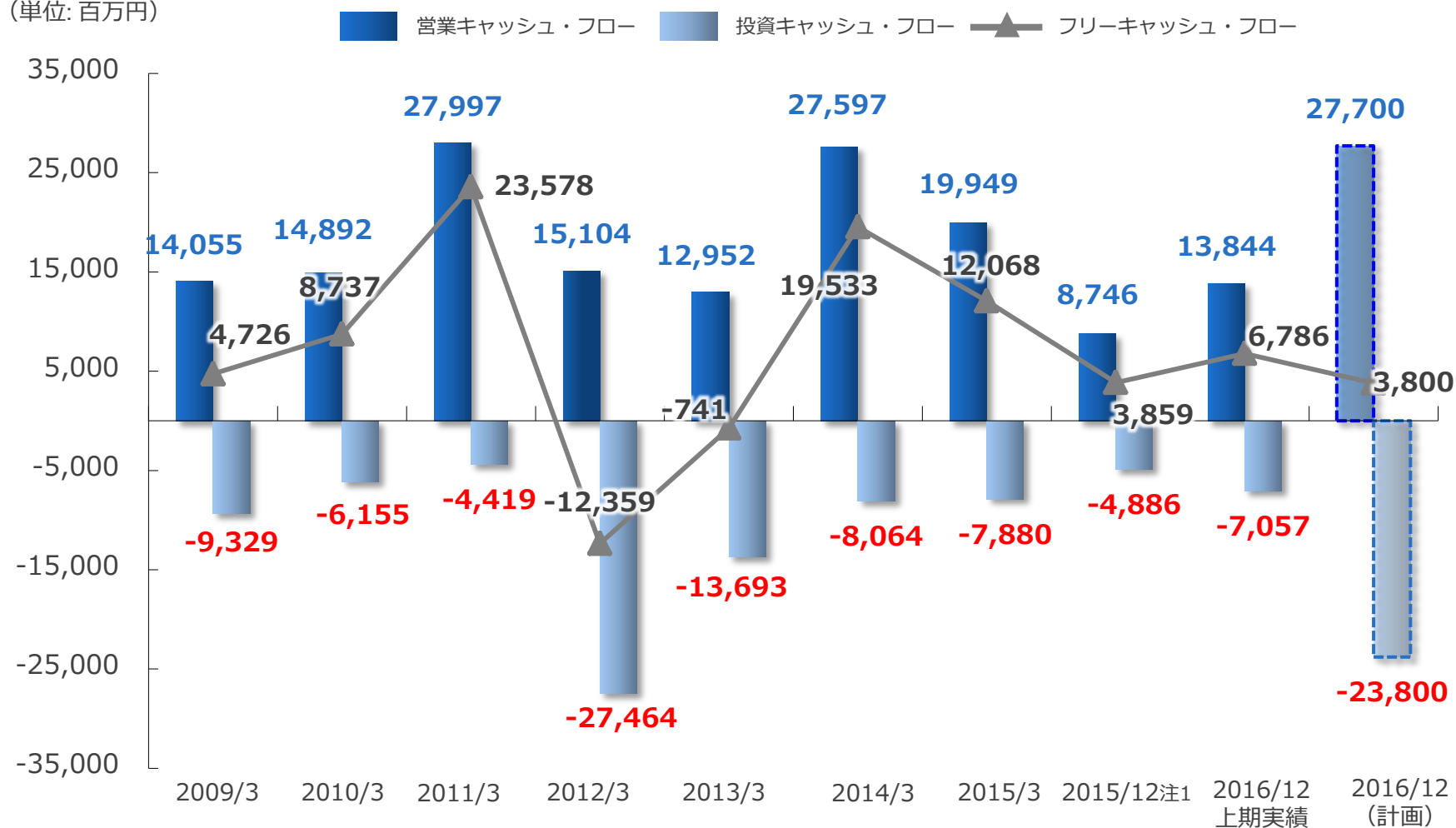
(包装機)

上期の受注環境を踏まえ、過去最高の売上計画に対し順調に推移。

注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

■大規模な設備投資を実施するものの、営業キャッシュ・フローによりフリーキャッシュ・フローのプラスを維持。

(単位: 百万円)



注1 に関する事項は注記リストをご参照ください。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■ 将来成長のために、精密減速機および航空機器を中心に大規模な設備投資を実施。

精密減速機：中国新工場における生産能力増強

航空機器： 新プログラムに向けた増産体制構築

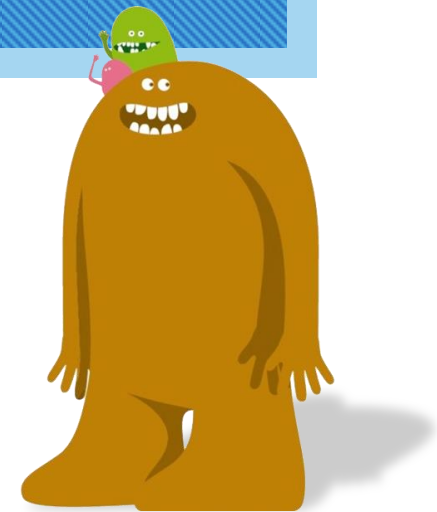
(単位：百万円)	2016/12 上期 実績 (A)	2016/12 通期 期首計画 (B)	進捗率 (A/B)	2015/12 通期 実績 (参考値 ^{注2})
設備投資額	7,813	20,000	39%	10,291
研究開発費	3,709	8,200	45%	7,265
減価償却費	3,338	8,600	39%	7,399

注2に関する事項は注記リストをご参照ください。

注1：当社および国内連結子会社9カ月、海外連結子会社12カ月を連結対象期間としております。

注2 「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期計画(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

Appendix



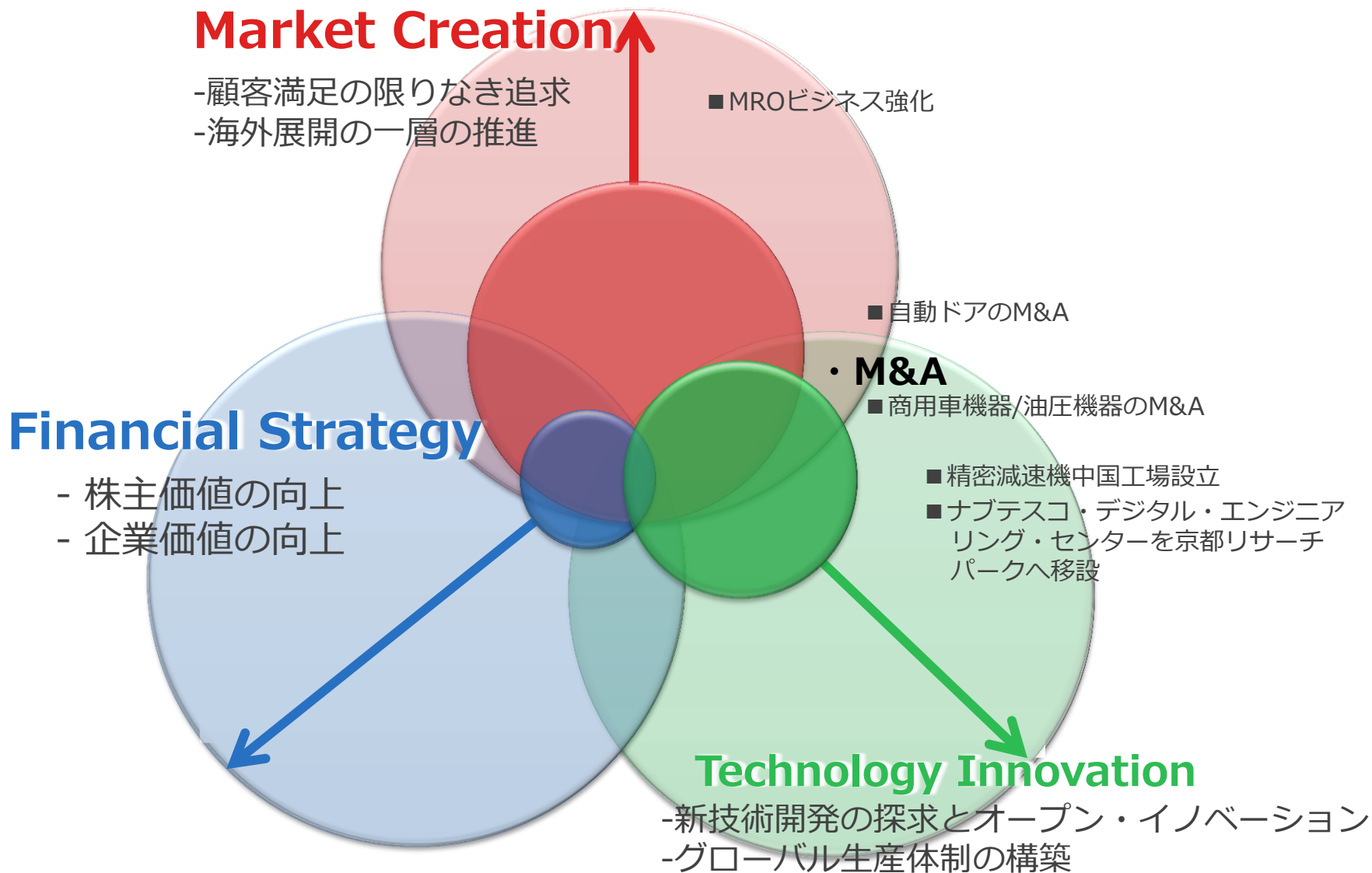
	2015年12月期 実績(参考値注2)	2016年12月期 計画	2017年3月期 中期計画最終年度
売上高	2,289億円	2,500億円	2,800億円±5%
営業利益	213億円	255億円	340億円
営業利益率	9.3%	10.2%	12.0%
当期純利益*	147億円	189億円	240億円
EPS	118.41円	153.04円	190円
ROA	6.2%	7.6%	7.5%
ROE	10.1%	12.5%	15.0%
配当額	44円	50円(予)	-
配当性向	-	32.7%(予)	30%以上

*当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

注2の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

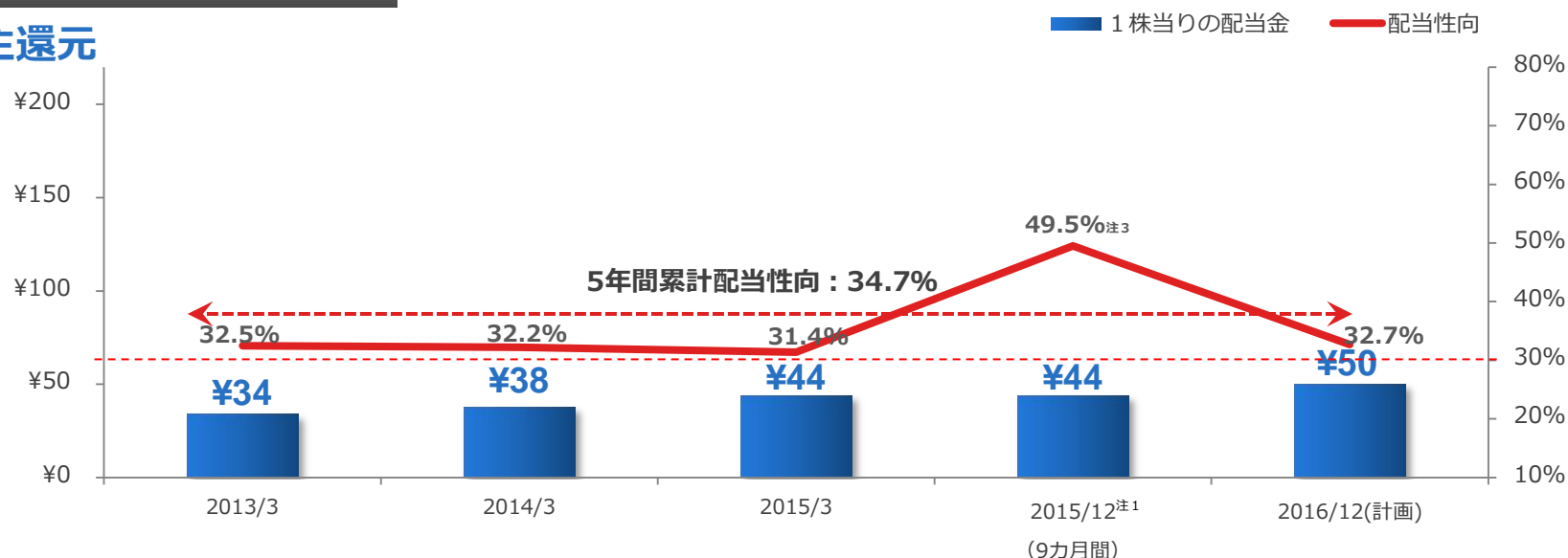
中長期的な経営戦略(次期中期経営計画に向けて)

- 経営戦略に大きな変更はなく、2020年長期ビジョンに向けた4年間の中期経営計画を策定予定



持続的・安定的な株主還元

■ 株主還元



- ・ 配当方針：配当性向30%以上 + 安定配当
- ・ 初の株主還元目的の自己株取得100億円実施⇒5年間累計の総還元性向は約48%の見込み

■ デット調達余力

<15/12末B/S>

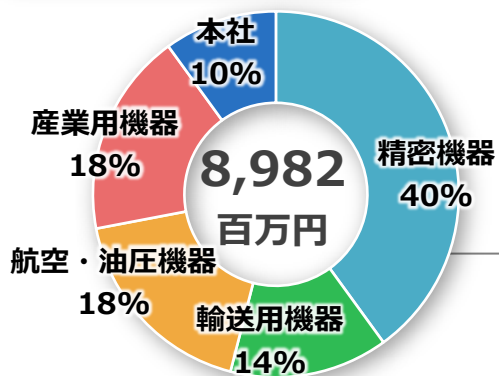
- 手元流動性：約350億円
- 自己資本：約1,400億円
- 自己資本比率：60.9%
- ・ **エクイティファイナンスは原則実施せず**

注1の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

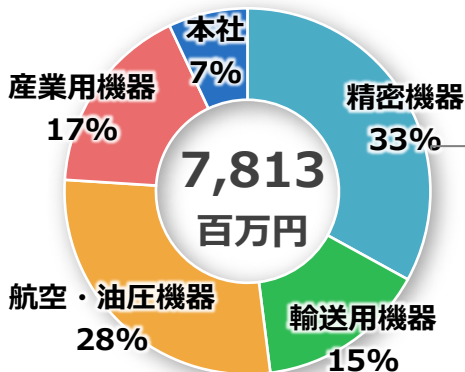
注3 2015/12月期は決算期変更の経過期間となることから、従来3月決算であった会社は9カ月間(2015年4月1日～2015年12月31日)、従来より12月決算の会社は12カ月間(2015年1月1日～2015年12月31日)を連結対象期間とした決算となっており、連結配当性向が方針(30%-40%)を上回っております。

設備投資額内訳

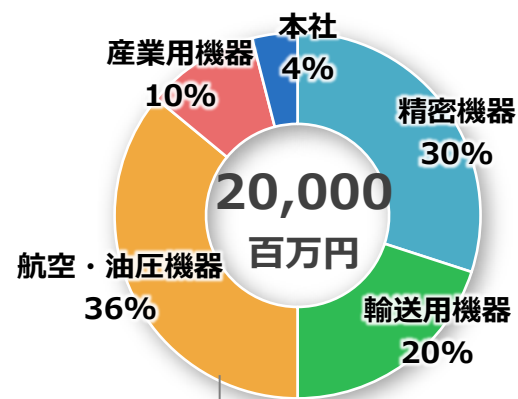
セグメント別



- 精密減速機
-中国新工場建設
-津工場増産対応

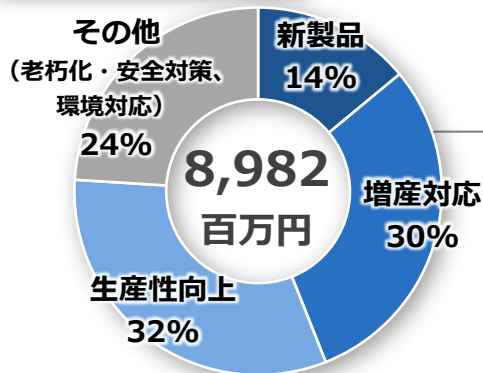


- 環境関連投資
- 研究開発関連投資

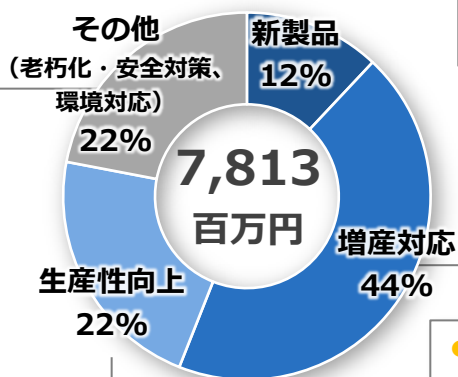


- 精密減速機
-中国新工場設備導入等
- 航空機器
-岐阜工場設備増強

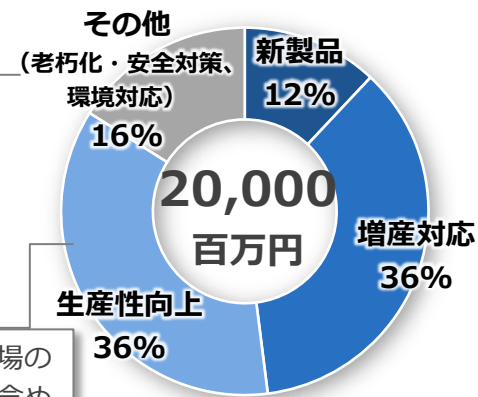
目的別



2015/12通期実績注1



2016/12上期実績



2016/12通期期首計画

- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資

注1の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

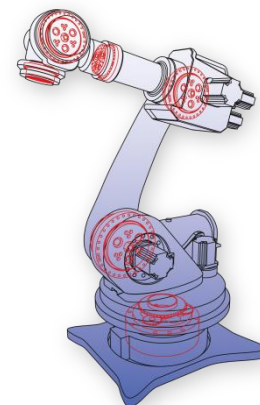
精密減速機

■ 産業用ロボットの関節用途



■ 工作機械 ATC駆動分野

(ATC = Automatic Tool Changer)

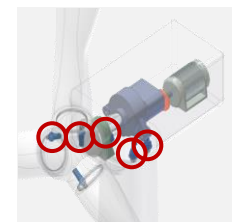


新エネルギー機器

■ 太陽追尾駆動装置



■ 風力発電用駆動装置



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 新エネルギー事業

太陽追尾装置：Cobra Thermosolar Plant (スペイン)

風力発電機用駆動装置：日立製作所、三菱重工業、他

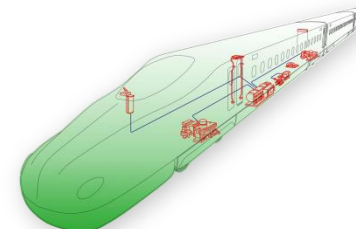
輸送用機器セグメント 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

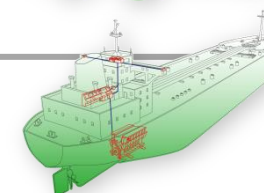


■ 商用車用エアドライヤー



舶用機器

■ 舶用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日本車輛製造、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 商用車用機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラックス、日産自動車、富士重工業

■ 舶用機器

川崎重工業、三井造船、日立造船、三菱重工業、Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)
Samsung Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、MAN Diesel (デンマーク)

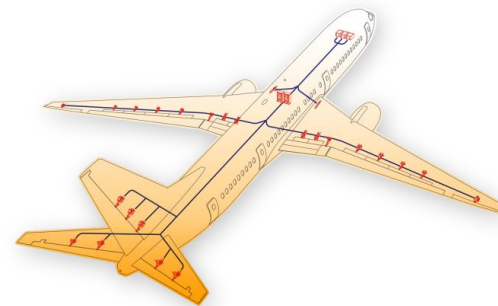
航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開

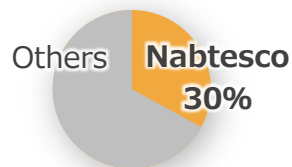


No.1
FCAの国産機
シェア約**100%**

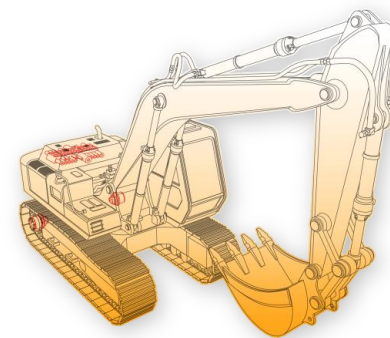


油圧機器

■ パワーショベル用走行ユニット



No.1
世界シェア約**30%**



主要顧客 (敬称略)

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

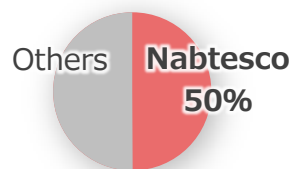
■ 油圧機器

コマツ、住友建機、コベルコ建機、クボタ、日立建機、Sany、Zoomlion、XCMG、Liu Gong

産業用機器セグメント 主要製品

自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



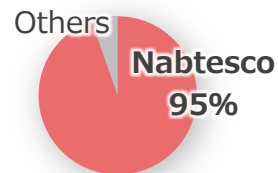
No.1

建物用自動ドア

国内シェア約**50%**
(世界トップクラス)



■ プラットホームスクリーンドア



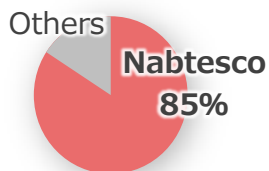
No.1

国内シェア約**95%**
(累計)



包装機

■ レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■ 自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

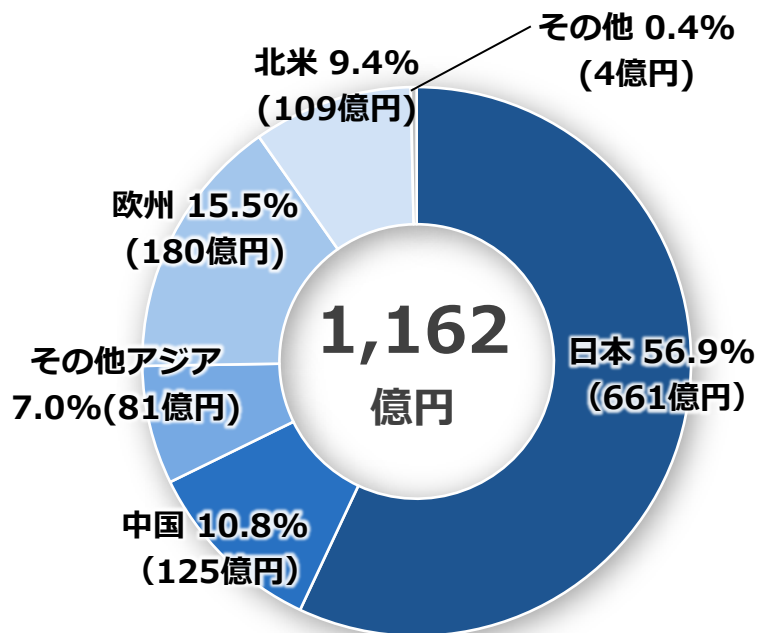
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

■ 包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

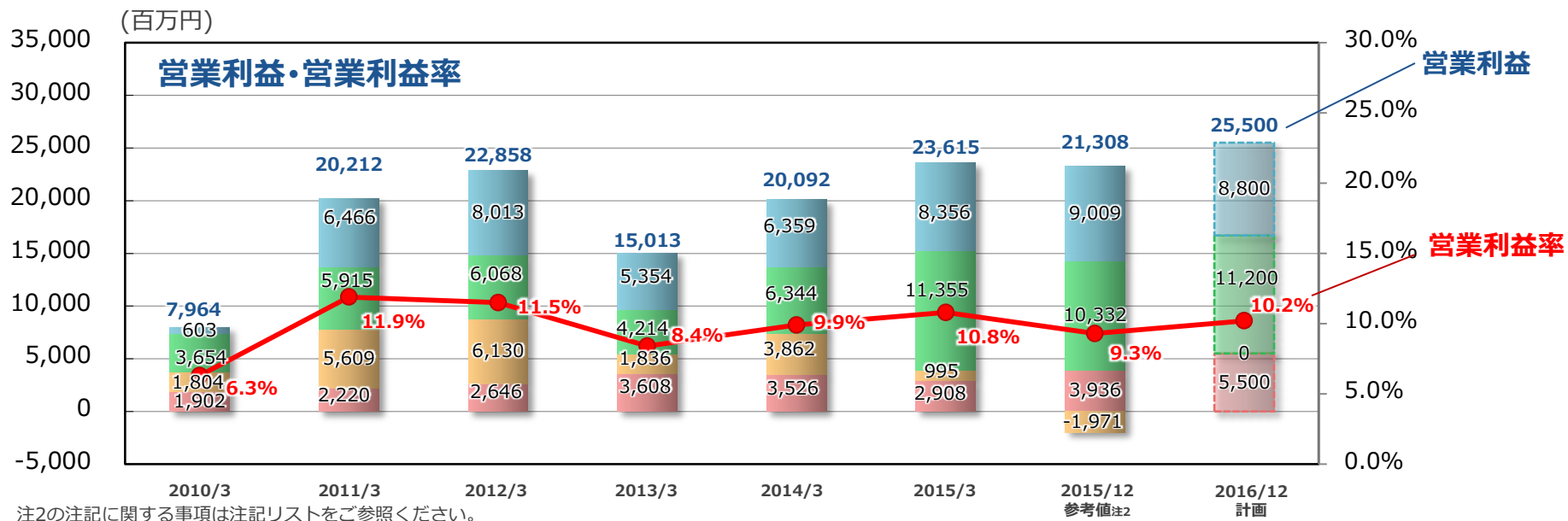
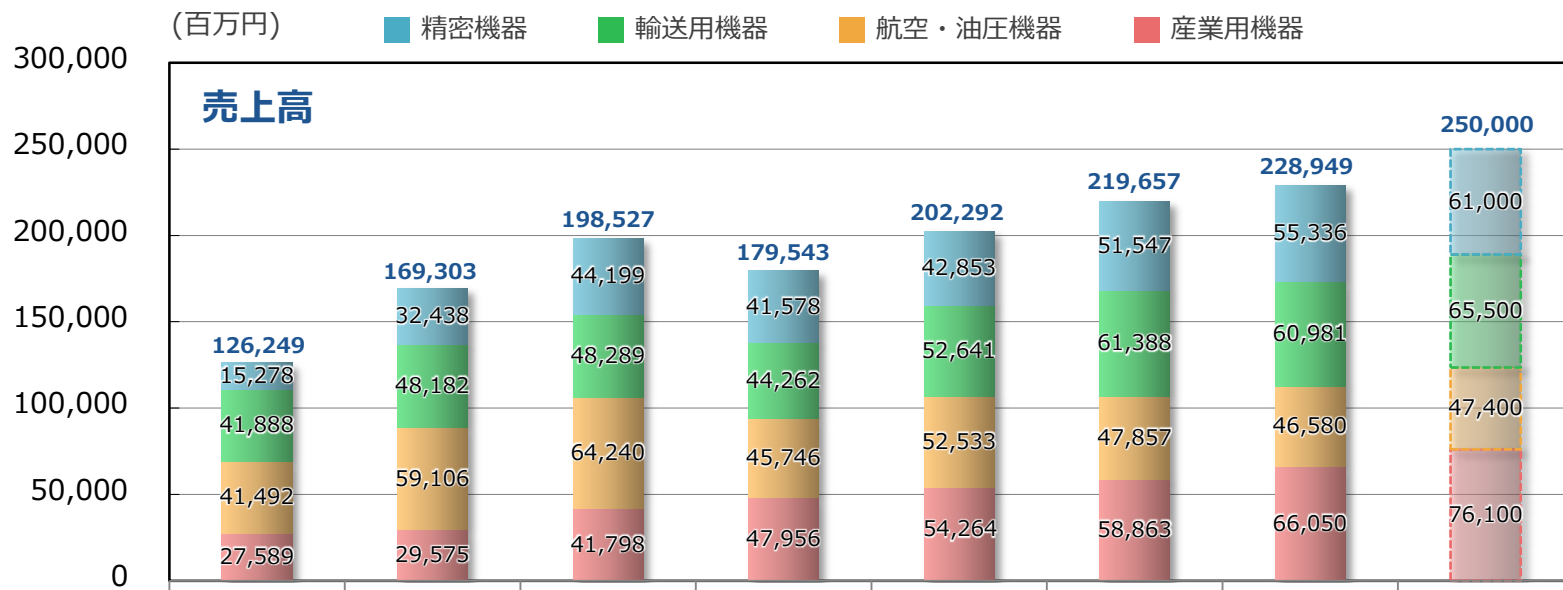
2016/12 第2四半期累計実績

(国内6カ月、海外6カ月)



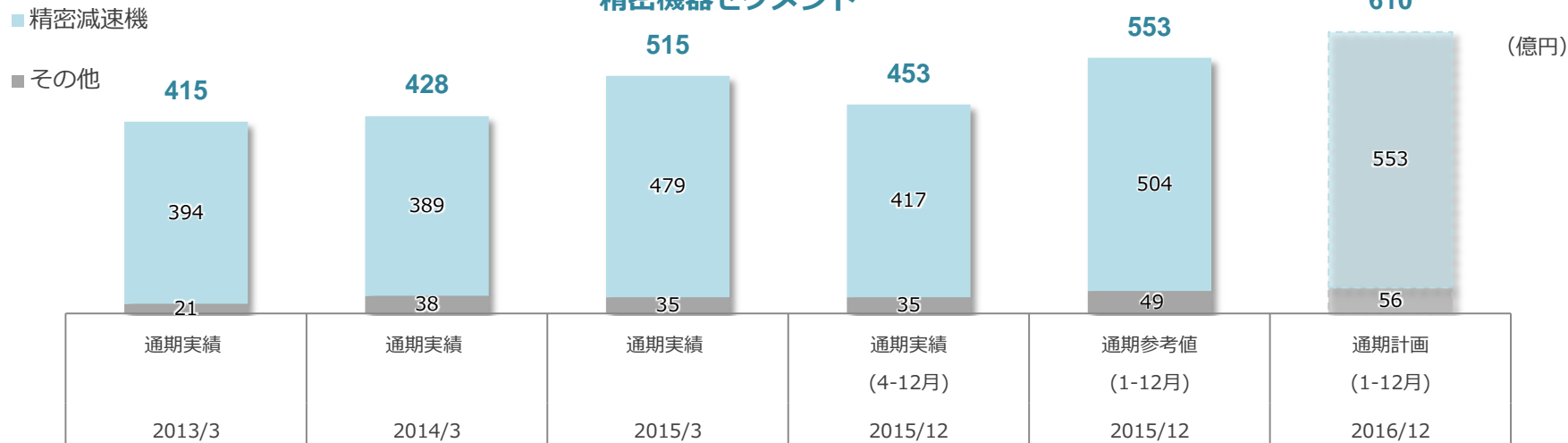
海外売上高	501億円
海外売上高比率	43.1%

事業セグメント別 売上高・営業利益推移(12カ月)

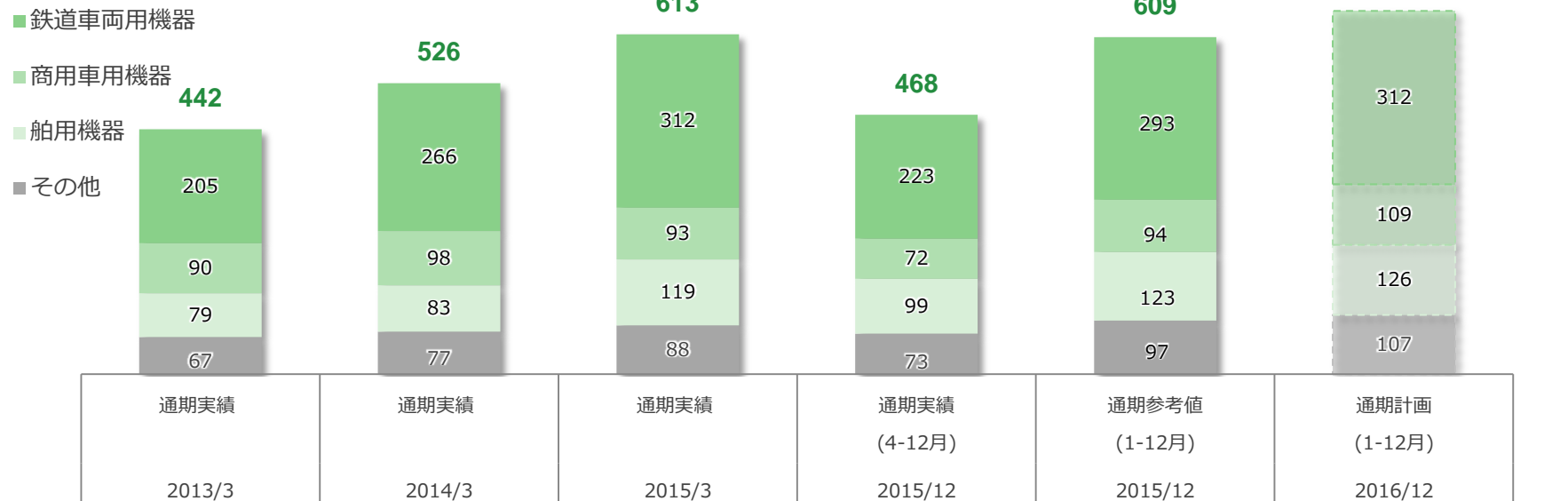


事業別 売上高推移

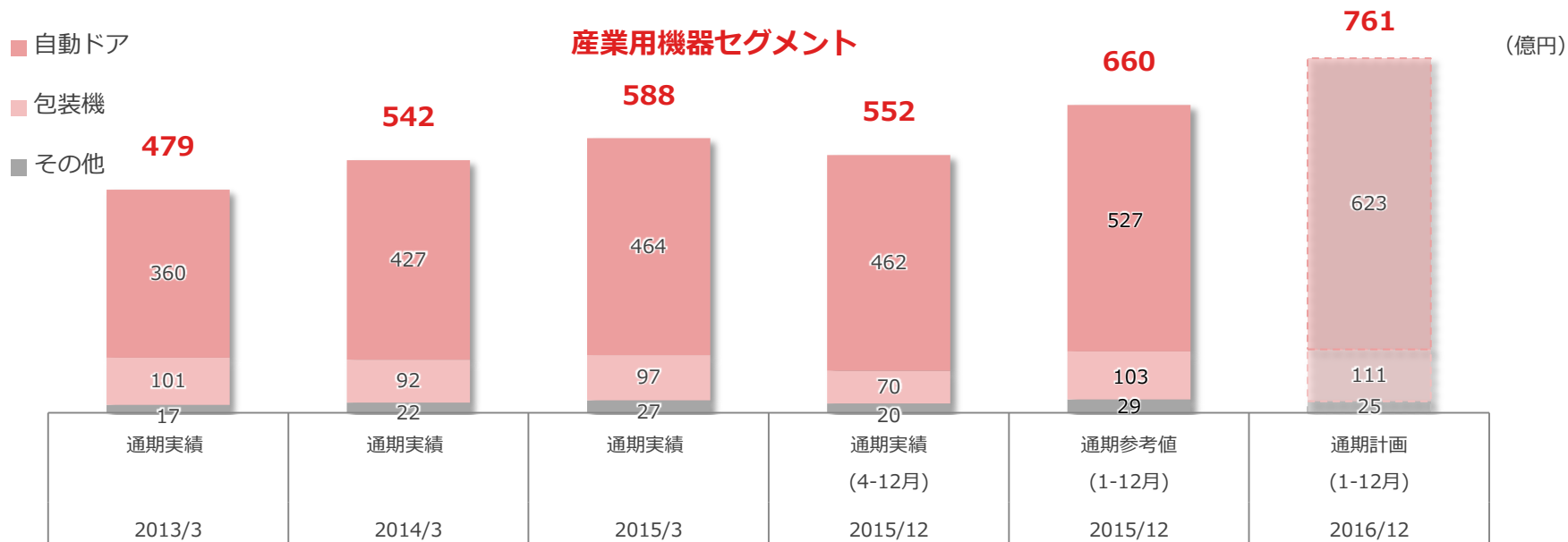
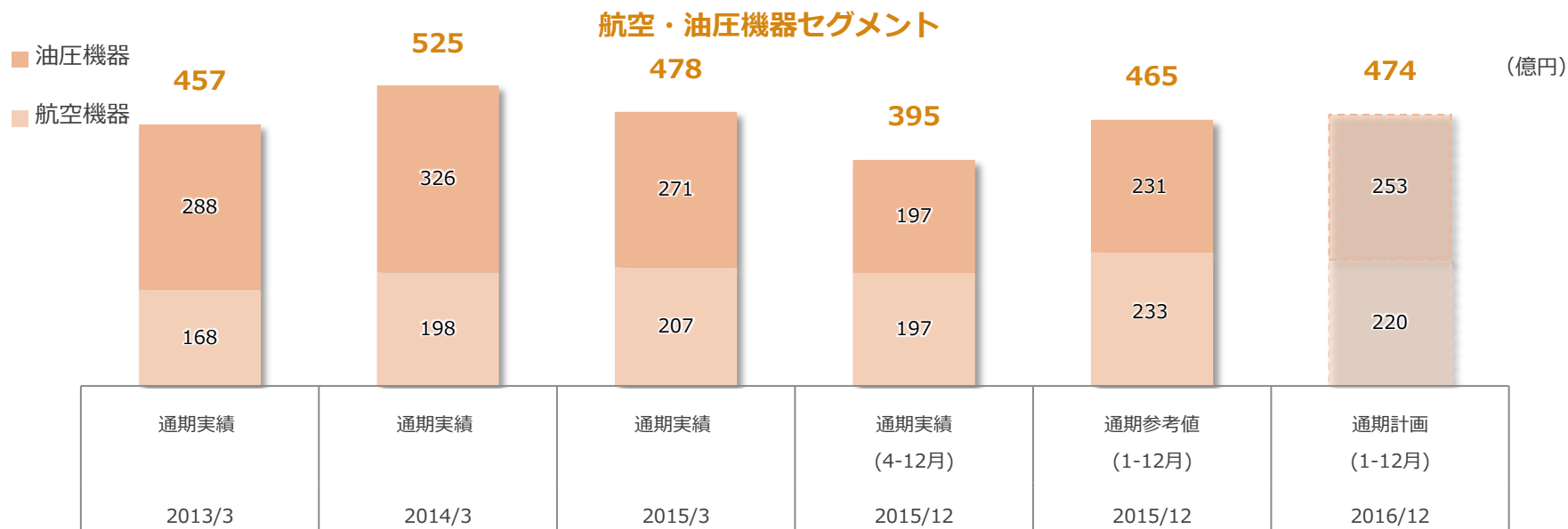
精密機器セグメント



輸送用機器セグメント



事業別 売上高推移



セグメント別実績・計画

(単位：百万円)

セグメント	項目	2016/12 上期 期首計画	2016/12 上期 実績 (A)	2016/12 通期 短信ベース計画 (B)	進捗率 (A/B)
精密機器	売上高	29,800	26,763	61,000	43.9%
	営業利益 (営業利益率)	4,000 (13.4%)	3,796 (14.2%)	8,800 (14.4%)	43.1%
輸送用機器	売上高	31,500	29,816	65,500	45.5%
	営業利益 (営業利益率)	4,900 (15.6%)	5,376 (18.0%)	11,200 (17.1%)	48.0%
航空・油圧機器	売上高	22,600	22,722	47,400	47.9%
	営業利益 (営業利益率)	-700 (-3.1%)	-544 (-2.4%)	0 (0.0%)	-
産業用機器	売上高	34,100	36,967	76,100	48.6%
	営業利益 (営業利益率)	1,800 (5.3%)	2,102 (5.7%)	5,500 (7.2%)	38.2%

うごかす、とめる。

Nabtesco

